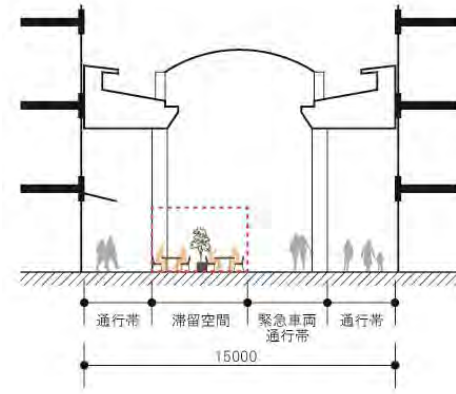


3 滞留空間づくりの実証実験 検討状況 (コンセプト)

■ 昨年度：大街道での実証実験の場合

【街路空間の特徴】

- ・ 1.5mの広幅員
- ・ パチンコ店やカラオケ店やドラッグストア等を代表とする大型店舗が比較的多い。
- ・ 直線的な街路、直線的な歩行形態となっている。
- ・ 滞留できる装置（ベンチ等）も少ない。



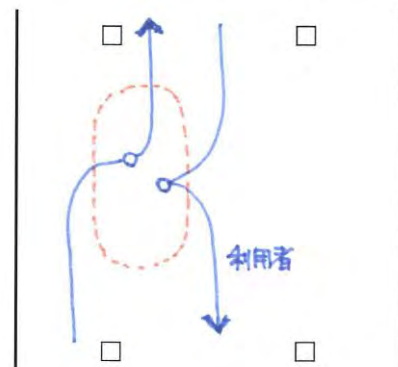
【取組のテーマ】

- ・ 利用者に対する、**公共空間としてのアメニティ強化としての滞留空間づくり。**
- ・ 利用者に対するサービスを、パブリックマインドをもった民間事業者が行い、**滞在時間UP、周辺売上UPに繋げ、エリア価値向上を図る。**

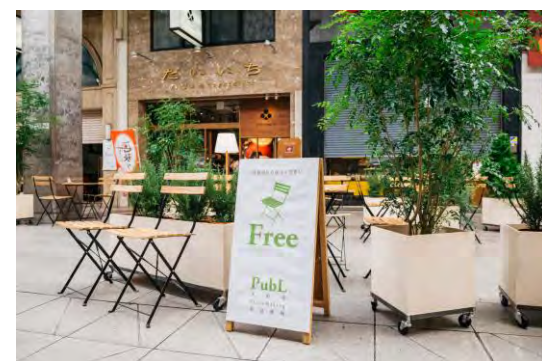
【滞留空間のコンセプト】 「座り場」

- ・ 周辺店舗から独立した「オープンカフェ型」
- ・ ある程度まとまったエリアをつくり、周囲から柔らかく分離した形状。
- ・ **利用者も止まり木のように、短時間休憩して、また移動するような行動が多い。**

■ 周辺から独立した設置と利用者の行動



■ 実際の様子



■ 銀天街での滞留空間の考え方

【実証実験の滞留空間づくり】

2パターンの滞留空間+空き店舗シャッター活用

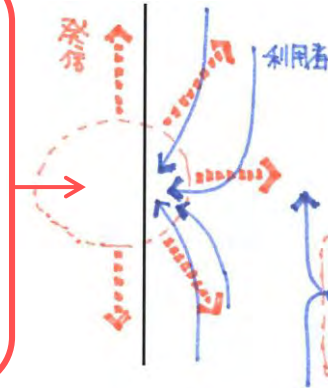
- ・ **パターンA**：建物内外を利用して滞留空間をつくる。 ⇒ 囲まれ感のある空間を生かした拠点タイプ
- ・ **パターンB**：店先を利用して滞留空間をつくる。 ⇒ 湊町全体に展開するプロトタイプ

パターンA：建物内外利用（きらりん）

建物内外を利用するため、囲まれ感のある拠点性を高めた形

・ 想定される行動

囲まれ感があるため、より長時間の滞留行動が期待できる。その結果、会話・出会い・コミュニケーションを誘発する。情報発信・展示・WS



パターンB：店先利用（空き店舗）

銀天街全体に波及させることが出来る形（プロトタイプ）

・ 想定される行動

短時間の休憩となるようなとまりぎとしてのあり方。

【取組のテーマ】

- ・ ヒューマンスケールで人情味を感じる銀天街ならではの形。
- ・ UDCMや湊町でのまちづくりにおける、ひとつの拠点。
- ・ まちの人々が交流し、コミュニケーションする場。
- ・ 滞在時間UP、周辺売上UPに繋げ、エリア価値向上を図る。

【取組のテーマ】

- ・ プロトタイプとして発展することができる配置や装置
- ・ 出し入れがより容易で、各店舗の取組として進める。
- ・ 1.5mという狭い幅で居心地の良い空間を追求する。

【滞留空間のコンセプト】

「湊町とまりぎプロトタイプ」

店舗前空間を利用するため、今後様々な場所に使用できるプロトタイプとする。

【滞留空間のコンセプト】 「湊町まちなかラウンジ」

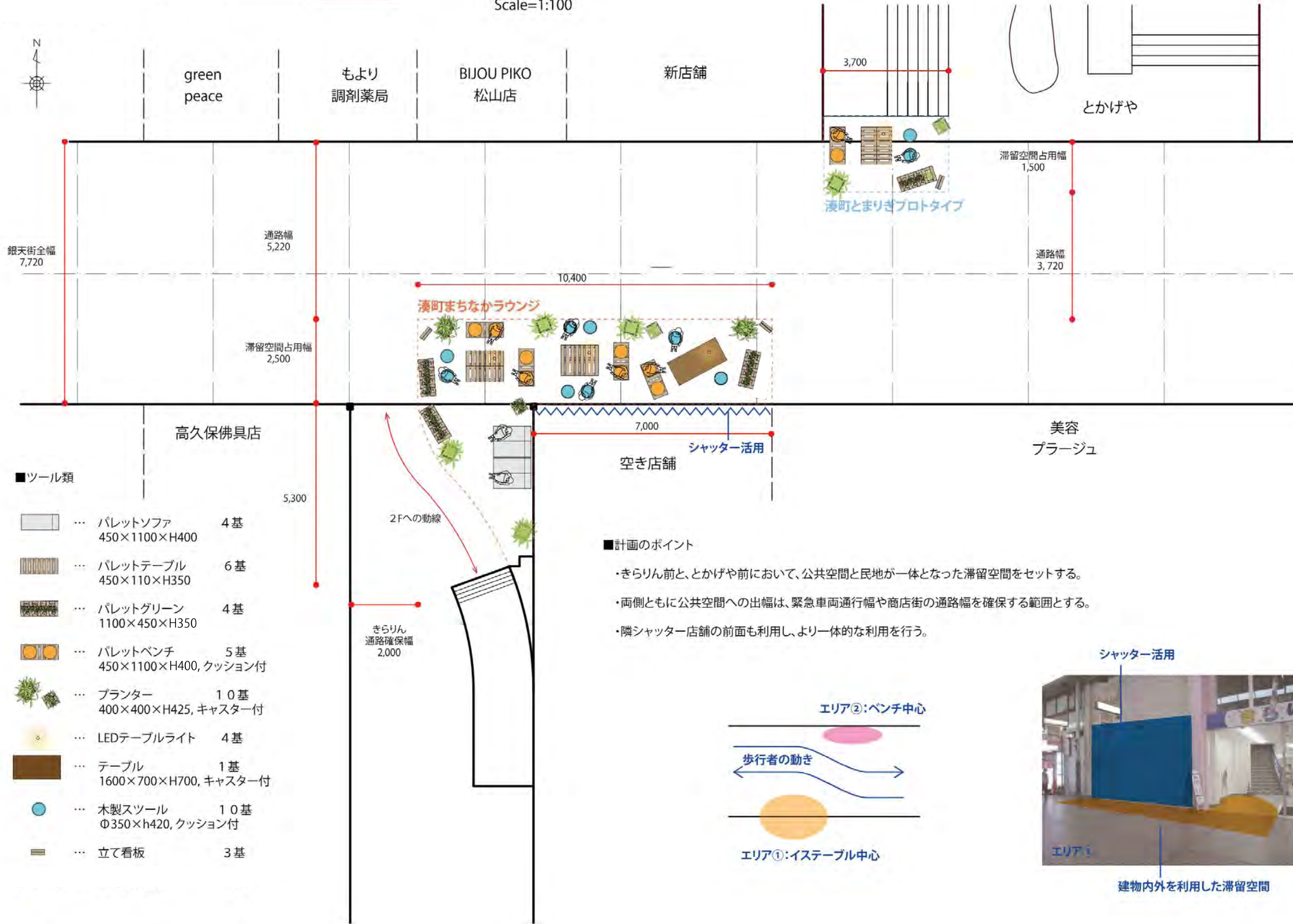
※ 「ラウンジ」…公共の待合室・社交室

Lounge：ぶらぶらする、もたれかかる、ゆったり横になる、くつろぐ。

- ・ 建物内外にまたがる形で滞留空間を設けるため、**より居心地を高め、長時間の滞留行動を促す。**
- ・ **出会いやコミュニケーションを誘発するような配置を行う。**
- ・ **まちづくり拠点としての、情報発信が出来るような機能や構成とする。**
- ・ 市民が作り、カスタマイズする空間 ⇒ **居心地が良く、簡単に動かせる装置を考える。**
- ・ **空き店舗のシャッターを活用し、様々な人々を巻き込むためのツールとする。**

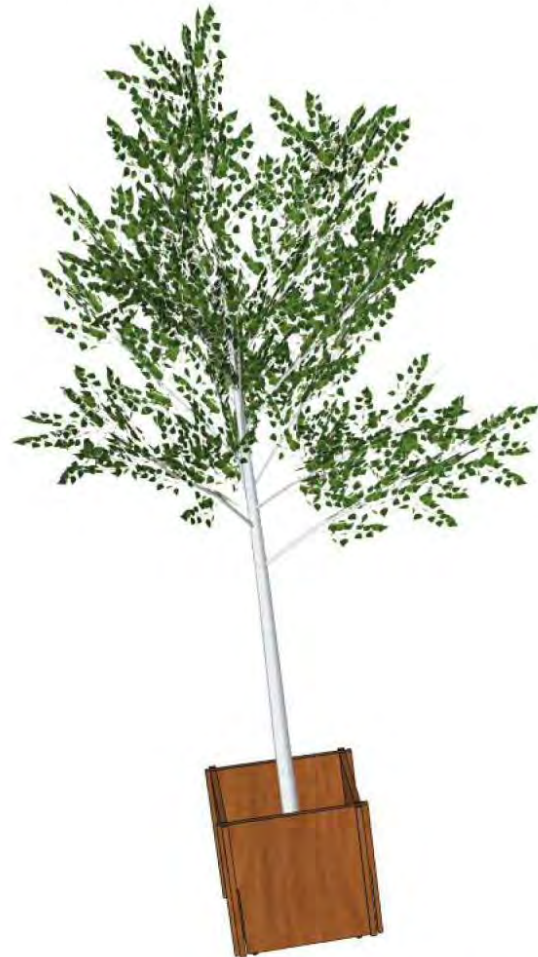
3 滞留空間づくりの実証実験 検討状況 (レイアウト)

滞留空間範囲 計画図 0 2.5 5 10m
Scale=1:100



プランター：製作

- 400×400×H425
- キャスター付き
- キャスターによる横移動で収納



立て看板：製作



パレットソファ：製作

- 450×1100×H400 (下記の絵は2個組み合わせ)
- ストッパー付キャスター
- キャスターによる横移動で収納
- 重さ
パレット部分 (下段) 約7.0kg
ソファ部分 (上段) 約8.5kg



木製ツール：購入

- Φ350×H420
- イケヤ製脚に天板 t15



パレットテーブル：製作

- 450×1100×H350 (上記の絵は2個組み合わせ)
- ストッパー付キャスター
- キャスターによる横移動で収納
- 重さ約14.5kg



パレットベンチ：製作

- 450×1100×H400
- ストッパー付キャスター
- キャスターによる横移動で収納
- 重さ約14.5kg
- ※上部にクッションを置いて座ることを誘導

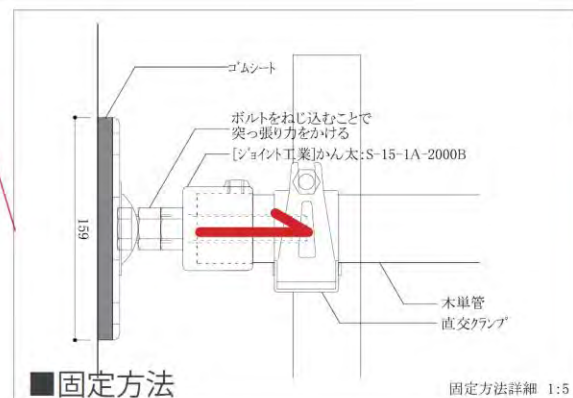
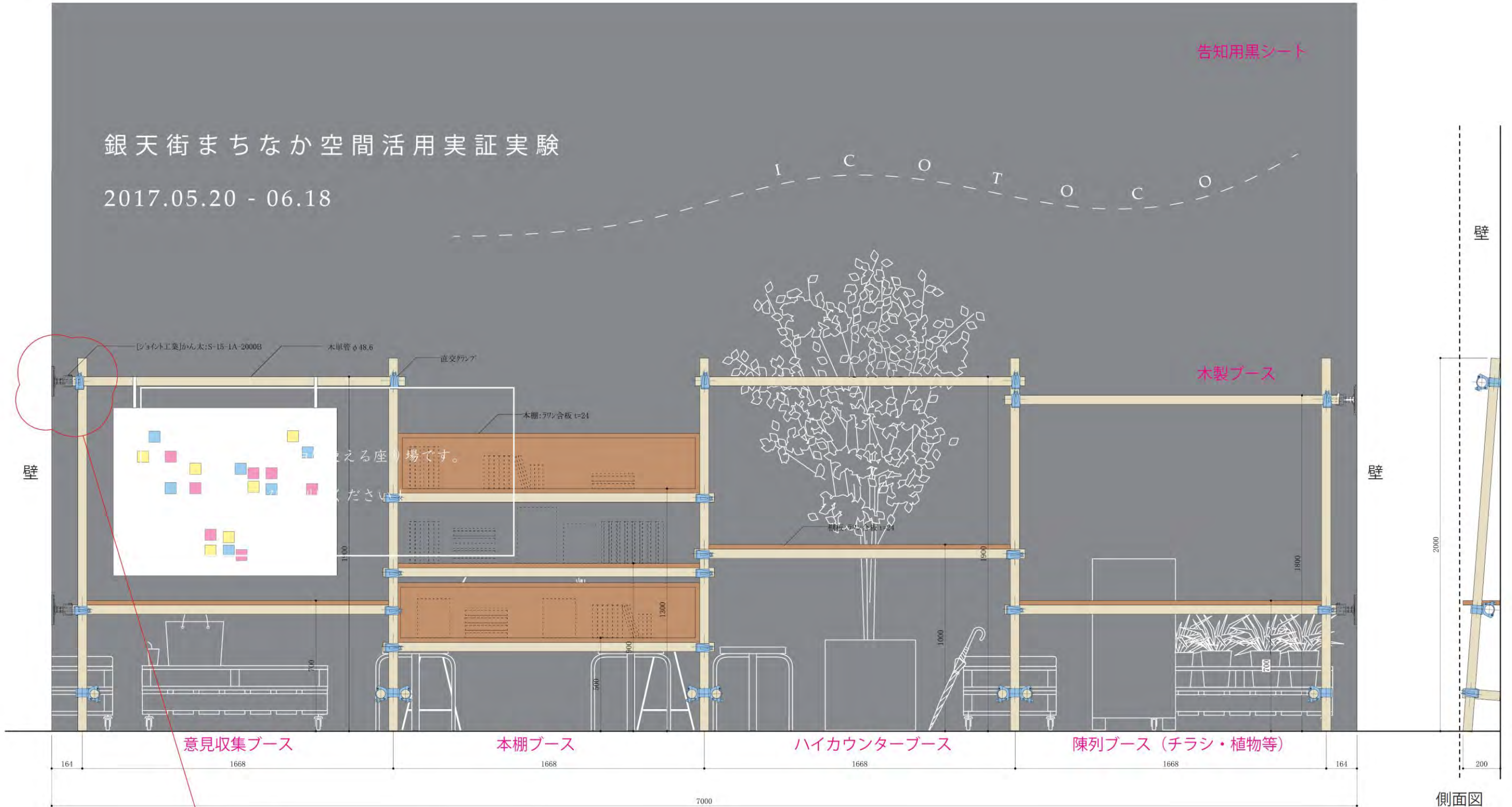


パレットグリーン：製作

- 450×1100×H350
- ストッパー付キャスター
- キャスターによる横移動で収納
- 重さ約14.5kg (植栽の重量は別途)
- ※上部に植物を誘導

3 滞留空間づくりの実証実験 検討状況 (シャッター活用イメージ)

告知用ブラックシート+木製ブース



[ジョイント工業]かん太:S-15-1A-2000B

■コンセプト

- ①告知用の、黒シートに白地イラスト (横幅 7m× 縦幅 4m) を活かす。
- ②その目の前に様々な使い方を誘発する装置として、
φ48.3 の木棒と工事用クランプで組んだブースを設置する。
- ③両サイドの壁を利用し、倒れないようにしっかりと固定する。

3 滞留空間づくりの実証実験 検討状況（イメージパース）



【まちなかラウンジ】のイメージ



全体のイメージ

3 滞留空間づくりの実証実験 検討状況（広報）

■基本的な考え方・視点

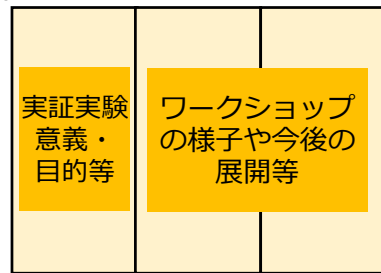
- 銀天街で“これから何が起ころうとしているのか” “今どんなことが行われているのか” を分かりやすく伝えるため、シャッターを活用したプロモーションを中心として、新しい動きや取組みを認識してもらいやすいように可視化する
- 特に、日常的に銀天街を通行する利用者・来街者をターゲットとして、実験を実施する銀天街周辺エリアの現場を活用したプロモーションに重点を置く

■広報に関する企画

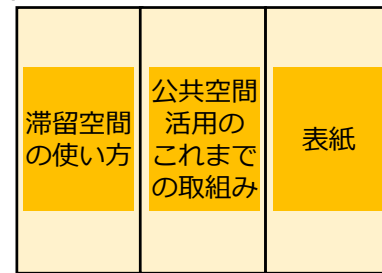
①チラシの作成・配布

- ・内容：実証実験の意義、滞留空間の使い方、WSの報告、今後の展開等
- ・時期：実証実験期間中（予定）
- ・配布場所：滞留空間、銀天街商店街の協力店舗、きらりん、てくるん、UDCM、市役所 等

(中)



(外)



※イメージ



※詳細の内容・構成・デザインは検討中（5/16を目途に確定予定）

②看板等の作成・設置

- ・“誰でも自由に利用できる空間” であることが一目で分かるように設置
- ・掲示内容：実証実験名、実施期間、使い方の説明 等
- ・WSの中で検討された内容のフィードバックも想定
⇒ 例：ロゴ、ネーミング、ハードデザインの踏襲 など

※イメージ（今後WSに合わせてデザインを検討）



実験の告知



使い方



分かりやすい場所への設置

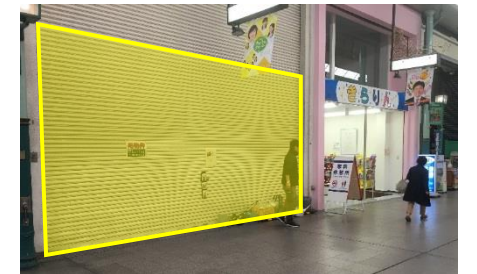
③空き店舗シャッターの活用

銀天街は幅員が狭いため、視界に入る店舗の存在感や情報量が大きく、チラシやポスターなど通常の情報発信媒体の存在だけでは、視覚的に埋もれてしまい効果が弱い可能性がある

⇒通常の情報発信媒体（チラシ）に加え、シャッターを効果的に活用し、告知を実施

【概要】

- ・場所：きらりん隣の空き店舗のシャッター
- ・内容：「滞留空間ができること」をイメージで告知
実証実験の期間
ネーミング・ロゴ（WSで検討中）
- ・方法：シャッターに黒板シートを貼り付け、滞留空間の構成要素をイラスト・アイコンで描写
（実施の空間と同じ規模で表現し、他の広告に埋もれないインパクトのある告知に）
- ・期間：5/3～実証実験開始前



【施工写真】



④滞留空間の「使い方（使いこなし方）」の周知

- ・チラシや看板、滞留空間の卓上（右写真/アンケートブック内等）に、“使い方”をイラストや写真で分かりやすく表現し、公共空間を使いこなすためのサポートを行う。

